



馬の学校

馬の学校通信

2016. 6 vol.62

発行 馬の学校

事務局 〒468-0007 愛知県名古屋市天白区植田本町 3-1105-302 TEL/FAX:052-805-2920

E-mail : mine@horseschool.org ホームページ : http://www.horseschool.org



夏のプログラム 参加者募集!

Uミルキーと友達になろう (裸馬体験と馬の世話)

日程: 8月5日(金)~8日(月)

各日 午前10時~11時30分

午後1時30分~3時

場所: 小須田牧場 (山梨県北杜市高根町清里)

内容: ミルキーの裸馬体験・ブラシがけ・水あげなど

対象: 子どもから大人まで (年齢制限なし)

定員: 6名/回

参加費: 3,000円/回

Uワンコイン ブラシがけ体験

日程: 8月5日(金)~8日(月)

各日 午後3時20分~3時50分

場所: 小須田牧場 (山梨県北杜市高根町清里)

内容: ブラシがけ・エサあげなど

対象: 子どもから大人まで (年齢制限なし)

定員: 6名/回

参加費: 500円/回

お申込みは、会員の方は7月1日から、一般の方は7月3日から、電話・FAX・メールにて事務局まで。

*留守電の場合は、お名前と希望するプログラムをお伝えください。折り返し、こちらからお電話いたします。

<ミルキーと友達になろう>

ブラシをかけて仲良くなつてから、いろいろな乗り方に挑戦します♪



春のプログラム 活動報告

U馬とのふれあいプログラム

in 六甲山牧場 (5/14・15)

14日は5歳から大人まで6名の参加、15日は大人3名の参加で行いました。見晴らしのいい高台まで馬とお散歩したり、乗馬では一人一人の経験やニーズに合わせて馬の誘導や速歩体験を行いました。馬とのコミュニケーション体験も好評でした。



U馬とのふれあいプログラム

in 服部緑地乗馬センター (6/4・5)

4日は1名でしたので、個人のペースで楽しめて、様々な挑戦も可能になりました。5日は5名でにぎやかに行いました。2回目のお友達が楽しそうに取り組む様子を見て、初めてのお友達もドキドキワクワク楽しめました。





馬のおもちゃ⑦ プレイモービル

Playmobil (プレイモービル) はドイツ生まれのおもちゃ。欧米ではLEGOと並んで大人気の玩具ブランドです。ドイツ生まれだけあって、馬関係のものも多く、厩舎セットや馬車など様々な種類があります。ドイツに行った時に小さな馬セットを買ったりして、娘が生まれる前から持っていました。今年に入ってその一部を娘に渡すと、積み木で厩舎や馬場を作り、ブラシをかけたたり、ポロを取ったり (ポロと一輪車もあります!)、障害物を飛ばせたりと、楽しく遊んでいます。



おすすめの本

『ルシールはうま』 文化出版局

アーノルド・ノーベル 著 岸田衞子 訳

ルシールはおひゃくしょうさんの馬。毎日畑で働いていただけ、ある日、きれいなドレスや帽子、靴を買ってもらい、憧れの貴婦人になりました。お茶を飲んでラジオを聞いて・・・楽しそうに見えた生活も、だんだんつまらなくなり、パーティーから抜け出したルシールは、おひゃくしょうさんのもとへ。自分らしく生きることの大切さも教えてくれる、素敵な絵本です。



私の出逢った馬たち (4) カミー

私がかミーと出逢ったのは、小須田牧場でスタッフとして働き始めてすぐの頃でした。かつては馬術の競技にも出ていたそうですが、高齢になり足を痛めたので、小須田牧場にやってきて、私が担当することになりました。

とても穏やかな性格のかミーは、私にとってとても安心できる馬でした。調教を通しては、「ときどきわくわく」の「ときどき」の方が大きいのですが、かミーは「わくわく」の方が大きかったです。休みの日の朝には、よく一緒に外乗に行きました。のんびりと歩きながら、私はかミーにいろいろと話しかけていました。楽しかったこと、悩んでいること・・・かミーは黙って聞いてくれ (当たり前?でも大切なことなのです) そのうちに自分で答えが見つかったりします。そう、私にとってはカウンセラーのような存在でした。

調教途中の馬などは「共に成長していく」という感じですが、かミーのような経験豊富な馬からは、「先輩に教えてもらう」ようでした。1年ほどのつきあいの中で、本当に多くのことを教えてもらいました。そんなかミーと別れたとき、私の中に一つの「決意」がありました。いろいろなことを教えてもらったお礼に、一人でも多くの子どもたちに馬という生き物のすばらしさを伝えていきたい、伝えていかなければならない、と思ったのです。そうすることが、唯一私がかミーに対してできるお返しなのだ。その思いは、今でも私の心の中にあります。



編集後記

気温差で体調を崩しやすい時期ですが、いかがお過ごしでしょうか。この春は新たに六甲山牧場でプログラムを開始しましたが、六甲山牧場の自然を生かし、乗馬以外でも馬とのコミュニケーションを体験できる、素敵なプログラムとなりました。「自分の考えをしっかりと持って馬に接しなくては、かえって馬を不安にしまうということ学んだ」参加者からはこんな感想が聞かれました。

夏には小須田牧場で、ミルクィが大活躍するプログラムを行います。娘とは3月にも小須田牧場に行ってきたのですが、以前に比べてしっかりとブラシがけや馬小屋掃除に取り組み、もう親子乗りは嫌だと一人で乗っていました。でもにんじんをあげるのはちょっと怖くて、私があげるのですが (笑) ふとしたときに「小須田牧場に行きたいねえ」と言い、親子で夏を心待ちにしています。

(峯崎 友香理)

